



看護技術研修 (基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)

～信頼される安全な看護を目指す～



新卒者67名が看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)を受講しました。研修では、これまでの基礎教育の学びを振り返り、看護技術動画視聴後に演習を行いました。研修者はそれぞれの看護技術の難しさを感じつつも、安全安楽を考慮した看護ケアを提供する必要性を学んでいました。また研修を通して自己の課題とその方策を見出していました。

4月

経口・直腸与薬

移動・移乗・移送 (車椅子・ストレッチャー)

インスリン療法 皮下注射

末梢静脈点滴

7Rの確認の大切さを学んでいました。



実際に患者役を体験して安全な移送の方法について検討していました。



各部署で使用している血糖測定器を使って手技を確認しました。



声を掛け合いながらストレッチャーへの移乗・移送を行っていました。



針を支える指の固定に難しさを感じていました。



キョクワイナルチックに沿って、指差し声出し確認を行いました。

5月

口鼻腔吸引

輸液・シリンジポンプ

酸素療法

静脈採血

吸引圧や一回の吸引時間について学びました。



正しいポンプの取り扱いや操作が、患者の安全につながることを学んでいました。



お互いの腕に穿刺しました。手技に集中してしまい、声掛けが不足してしまう傾向を振り返っていました。

閉塞アラームの対応を指導者と共に確認しました。



酸素ボンベの使用後は、元栓を閉め圧力計の目盛が0になる所まで確認、適切な管理を改めて学習しました。



6月

口腔ケア

経尿道的膀胱留置カテーテル

筋肉注射

浣腸



清潔と不潔をしっかりと区別し、清潔動作を確実に習得する必要性を実感していました。



針を刺す部位や角度、深さについて学びました。



全介助が必要な患者を想定して、誤嚥せず効果的に口腔ケアを実施する手順を確認しました。



アフィラクソトックを疑ったときのアドレナリンの筋肉注射では、緊急時の対応を研修者同士で検討していました。



声掛けや羞恥心に配慮したケアの大切さを感じていました。

★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当